

神々の詩

うた

12月16日、
町民ミュージカル公演
「神々の詩」が、
町文化センターで上演されました。
第6回目の公演となる今回は
町内を中心とした33人が出演、
歌・踊り・演技に
半年間の練習を重ね、
見事な舞台を披露しました。
物語は、交通事故のショックで
時空を越えた少年・達也が
神々の住む世界に迷い込み、
スサノオノミコトや天照大神と出会い、
動物や日野の里の人たちと
ふれあう中で成長していくファンタジー。
出演者の体当たりの熱演に、
昼・夜公演とも満員の客席からは、
感動の拍手が送られました。

特別出演の日野高校郷芸部「荒神神楽」

スサノオに仕える天子たち



現代の少年・達也



村人役の大人たちも熱演



神話のヒーロー・スサノオノミコト



オロチの影に怯えるくしなだひめ



太古の昔の日野の里の子どもたち

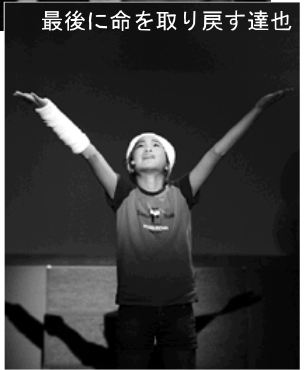




ヤマタノオロチを8人で表現



—ミカルな演技に客席も沸く



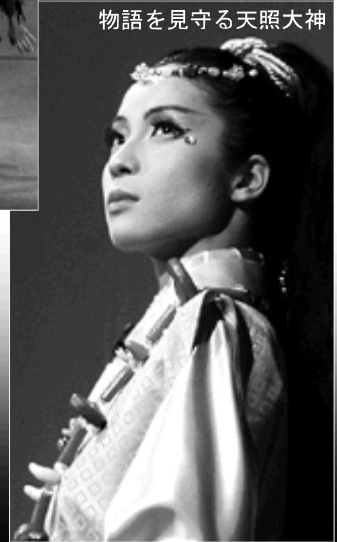
最後に命を取り戻す達也



出雲から国造りを始める二人



ウサギ・サルなど日野の里の動物たち



物語を見守る天照大神



フィナーレ、幕が下りる瞬間まで客席に感謝の気持ちを表す